

# インターネットの仕組み

情報科学の世界 2

2022 年度前期

佐賀大学工学部 只木進一

- ① インターネットの仕組み
- ② インターネットデバイスの設定
- ③ MAC アドレス
- ④ IP アドレスとネットワークアドレス
- ⑤ アドレス空間の構造
- ⑥ DNS: Domain Name System
- ⑦ IP Routing
- ⑧ DHCP: Dynamic Host Configuration Protocol
- ⑨ IPv4/IPv6
- ⑩ 課題

# インターネットデバイスの設定

PC に設定しているインターネット関連の情報を見る

- Windows10 で情報を表示する
- コマンドプロンプトの表示
  - 検索窓で「コマンドプロンプト」と入力
- コマンドの実行
  - `ipconfig /all`
- Mac はターミナルで実行
  - `ifconfig`

```

C:\>ipconfig /all

コマンド プロンプト
Windows IP 構成
ホスト名. . . . . : hirohito017
プライマリ DNS サフィックス . . . . . :
ノード タイプ . . . . . : ブロードブロード
IP ルーティング有効 . . . . . : 有効
WINS プロキシ有効 . . . . . : 有効
DNS サフィックス検索一覧 . . . . . : sta...ro.sage-u.ac.jp

イーサネット アダプター イーサネット:
接続固有の DNS サフィックス . . . . . : sta...ro.sage-u.ac.jp
説明. . . . . : Intel(R) Ethernet Connection (5) I219
LM
物理アドレス. . . . . : 37-58-12-58-82-F8
DHCP 有効 . . . . . : 有効
自動構成有効 . . . . . : 有効
IPv6 アドレス . . . . . : 2001:208:22:330:1517:5397:4065:4132(優先)
先) 一時 IPv6 アドレス. . . . . : 2001:208:22:330:1517:5397:4065:4132(優先)
先) リンクローカル IPv6 アドレス. . . . . : fe80::70a6:4c02:83f8:33ac%13(優先)
IPv4 アドレス . . . . . : 133.49.51.2(優先)
サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0
リース取得 . . . . . : 2020年1月26日 12:14:45
リースの有効期限 . . . . . : 2020年1月26日 12:14:45
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : fe80::250:5fff:fecc:ab95%3
133.49.51.254
DHCP サーバー . . . . . : 133.49.51.2
DHCPv6 IAID . . . . . : 58204950
DHCPv6 クライアント DUID. . . . . : 01-01-00-01-21-51-A5-82-3C-52-82-EE-82
-F8
DNS サーバー . . . . . : 133.49.51.2
133.49.4.1
NetBIOS over TCP/IP . . . . . : 有効

```

# インターネットデバイスの設定

- MAC アドレス: ハードウェアの ID
- IP アドレス
- ネットマスク
- ブロードキャストアドレス
- デフォルトルートアドレス
- 名前解決

# スマートフォンの設定

- WiFi に接続したスマートフォンにも同様の設定
- 歯車記号 → ネットワークとインターネット → WiFi → 歯車記号 → 詳細設定

# MAC (Media Access Control) アドレス

- 通信ハードウェアのアドレス
  - 48 ビット
  - 製造元と個体特定のアドレスで構成
- Ethernet では、同一ネットワーク内での識別に利用
- IP アドレスとの関係を見る
  - `arp -a`

# サブネットワーク: subnetworks

- インターネットはネットワークの相互接続
- 組織内のネットワークも小さなサブネットワークに分割
- ネットワーク間を結ぶルータ (routers)
- ネットマスクを使ってネットワークを識別
  - 自ネットワークか他ネットワークか



# IP アドレスとネットワークアドレス

- 通信デバイスにアドレスを付与
  - 32 ビットアドレス
  - 通常は 8 ビット (octet) 毎に分ち書き: 人間が見やすいように
  - 例: 133.49.4.7
- IP アドレスはネットワーク部とホスト部から構成される
  - 分かれる部分は、ネットマスクで指定
  - ピリオドの位置とは違う場合もある

## 例：24 ビットネットマスク

10進	255	255	255	0
16進	FF	FF	FF	00
2進	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 0 0 0 0 0 0 0
10進	133	49	51	12
2進	1 0 0 0 0 1 0 1	0 0 1 1 0 0 0 1	0 0 1 1 0 0 1 1	1 0 0 0 0 1 1 0
2進	1 0 0 0 0 1 0 1	0 0 1 1 0 0 0 1	0 0 1 1 0 0 1 1	1 0 0 0 0 0 0 0
10進	133	49	51	0

## 3通りのネットワークアドレス標記

- 133.49.51.0/24
- 133.49.51.0/255.255.255.0
- 133.49.51.0/FFFFFF00

## 例：22 ビットネットマスク

10 進	255	255	252	0
16 進	FF	FF	FC	00
2 進	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0
10 進	133	49	51	12
2 進	1 0 0 0 0 1 0 1	0 0 1 1 0 0 0 1	0 0 1 1 0 0 1 1	0 1 1 0 0 0 0 1
2 進	1 0 0 0 0 1 0 1	0 0 1 1 0 0 0 1	0 0 1 1 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0
10 進	133	49	48	0

## 3 通りのネットワークアドレス標記

- 133.49.48.0/22
- 133.49.48.0/255.255.252.0
- 133.49.48.0/FFFFFFC00

## 24 ビットネットワーク 4 つが一まとめり

# ブロードキャストアドレス: Broadcast address

- ブロードキャスト
  - 同一ネットワーク内への一斉送信
- ネットワークアドレスの末尾のアドレスを使用

# グローバルアドレス: global addresses

- 世界中で一意に設定しなければならない
- 使えるネットワークアドレスの割り当て組織が存在
  - JPNIC : 国内のアドレス割り当てを実施  
<https://www.nic.ad.jp/>
  - 佐賀大学は 133.49.0.0/16 を保有
- 組織内のサブネット
  - 組織が自律的に管理

# ネットワーククラス

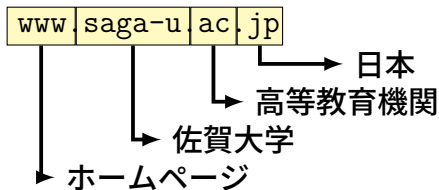
クラス	アドレス範囲	説明
A	0.0.0.0 – 127.255.255.255	8 ビットネットワークアドレス 先頭は 0
B	128.0.0.0 – 191.255.255.255	16 ビットネットワークアドレス 先頭は 10
C	192.0.0.0 – 223.255.255.255	24 ビットネットワークアドレス 先頭は 110

# プライベートアドレス: private addresses

- プライベートアドレス
  - 組織内で自由に割り当てて良い
  - 外部に出してはいけない
- 10.0.0.0/8
- 172.16.0.0/12
- 192.168.0.0/16

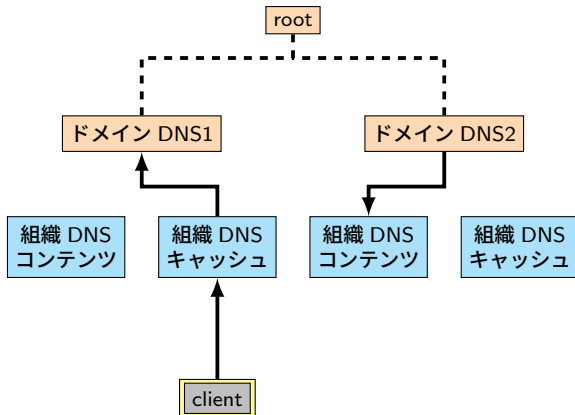
# ドメイン名

- IP アドレスは覚えられない
- 意味のある名前を付ける
- アプリケーションは、IP アドレスで接続することに注意





# DNS の階層構造



# DNS を使ってみる

- コマンドプロンプトから
  - nslookup ホスト名

# FQDN : Fully Qualified Domain Name

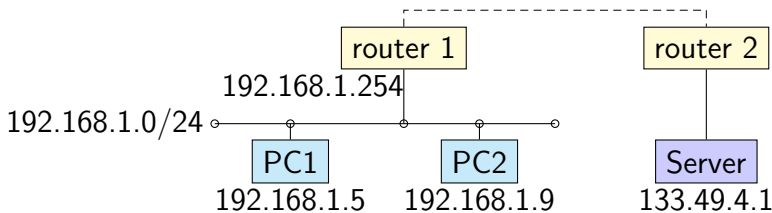
- DNS によって指定されたホスト名
- ドメイン名の重要性
  - go.jp: 日本の政府機関
  - ac.jp: 日本の高等教育機関及び 18 歳以上を対象とする専門学校・各種学校
  - co.jp: 国内で登記している会社組織
- 日本での管理組織  
<https://jprs.co.jp/>

# IP Routing

- 一つのネットワークには、一つのネットワークアドレス
- ルータ (router) : 異なるネットワークを繋ぐ通信機器
- 宛先 IP アドレスから、宛先ネットワークアドレスを計算
  - ネットワークインターフェースのネットマスクを使用
  - 宛先ネットワークに応じて、パケットを送り出すネットワークインターフェースを選択
- ルーティングテーブル: routing tables
  - ネットワークアドレス毎に使用するインターフェースを定義
  - デフォルトルート (default route): 知らないネットワークアドレス宛に使用する

## 例：クライアント PC など

- 宛先 IP アドレスから、宛先ネットワークアドレスを計算
  - 自身のネットマスクを使用
- 自身のネットワークでない場合には、デフォルトルートへ
- 自身のネットワークである場合には、イーサネットプロトコルで通信



- PC1 から Server への通信

- Server のネットワークアドレス 133.49.4.0 は、自ネットワークではない
- デフォルトルート 192.168.1.254 へパケットを送信

- PC1 から PC2 への通信

- PC2 のネットワークアドレス 192.168.1.0 は、自ネットワーク
- イーサネットプロトコルで直接通信

# ルータの機能

- ネットワークアドレス毎に次の転送先を保持
  - routing table を保持
  - routing table を router 間で交換するプロトコル
  - 知らないアドレスは、上位（デフォルト）へ転送
- パケット内の転送回数を一つ増やす
- 転送回数を超えたパケットを破棄

# デフォルトルートアドレス

## Default Route Address

- 次の転送先が分からない場合の転送先
- クライアントの場合には、最近接のルータのアドレス
- ルータの場合には、上位最近接のルータのアドレス



# DHCP: Dynamic Host Configuration Protocol

- コンピュータへの IP アドレス等の設定
  - ある程度知識が必要
  - 間違えると通信できない
  - 他のデバイスに迷惑がかかる
- エンドユーザが使うクライアントでは正確な設定は無理
  - 移動している端末では更に困難
- 自動的にネットワーク設定をするプロトコル
  - サーバが必要

# IPv4/IPv6

- IPv4: 従来のプロトコル
  - IP アドレスは 32 ビット:  $2^{32} \simeq 4.3 \times 10^9$
  - アドレスの枯渇: アジア太平洋地域は 2011 年に枯渇
- Ipv6: アドレス枯渇に対応した新プロトコル
- 128 ビットアドレス:  $2^{128} \simeq 3.4 \times 10^{38}$

- IPv6 の利点
  - 全てのデバイスに IP アドレスを
  - IP アドレス設定の自動化
- IPv6 の課題
  - IPv4 からの移行の困難
  - 現状では共存
- 佐賀大学総合情報基盤センターのホームページも IPv6

# 課題

自宅のインターネット回線がある人は、そこで使われているアドレスを確かめなさい。